

平成 26 年度 第 1 回 SD 研修会

日 時	平成 26 年 6 月 3 日 (火) 16 : 00 ~ 16 : 45
場 所	宮崎国際大学 2 号棟 104 教室 (語学教育研究所)
講 師	教育学部 野崎秀正先生
出 席 者	15 名
研 修 内 容	
<p>平成 26 年度「大学教育再生加速プログラム (Acceleration Program for University education Rebuilding: AP)」の概要と、本学が申請した申請内容についての説明が行われた。</p> <p>概要</p> <p>AP は、教育再生実行会議等で提言された国として進める改革の方向性のうち、①アクティブ・ラーニング、②学習成果の可視化、③入試改革・高大接続を行う取組を重点的に支援するものである。</p> <p>この支援により、①大学の人材養成機能の抜本的強化、②能力・意欲・適正を多面的・総合的に評価し得る大学入学者選抜への転換、③高等学校教育と大学教育の強化による一体的な改革を推進することを目的としている。これまでの GP(Good Practice)事業等を踏まえて新たに始まったものである。</p> <p>申請要件としては、事業内容が申請時において達成されているか、又は平成 29 年 3 月までに全学において確実に達成することが申請の要件となっている。また、このプログラムの支援期間は 5 年だが、補助期間終了後も自立的に事業を行うことが原則である。</p> <p>審査は、書類審査及び面接審査の二段階である。面接審査は 8 月中に行われ、選定結果通知は 8 月下旬～9 月上旬に行われる予定である。</p> <p>本学の申請について</p> <p>本学は 3 つあるテーマのうち、「I、II 複合型」に応募している。「I、II 複合型」での申請件数は 88 件、その内大学からの申請は 75 件である。採択校は、このうち 16 件程度である。</p> <p>本学は、アクティブ・ラーニングを開学時当初から行っているが、①アクティブ・ラーニングのベスト・プラクティスの明確化、②学修成果を測定・評価するツールの開発、③e ポートフォリオを利用した学習成果の可視化等の取り組み等を行う予定である。</p> <p>今後は、面接審査が行われることを前提として、全学的に早急な対応が必要であり教員を中心に取り組む必要がある。</p> <p>最後に、学長より AP はもちろんのこと、各種補助金獲得を視野に入れて、全学的な体制整備のために全教職員で協力頂きたいとお話しがあった。</p>	